

て手伝ってくれました。するとふしぎに馬はおとなしくなって仕事がどんどんはかどります。この男の子が地藏さまだったのです。みんなははなどり地藏さんといって親しんでいました。そのうち如来寺は熊川の遍照寺へんしょうじに合併がっぺいされ地藏さまの姿も見えなくなりました。今、地藏前という地名だけが残っています。

《話二十八話》

だきつき石（大川原）

むかし。

八幡太郎義家が陸奥むつの国の敵を討つために大川原を通りました。字坂下の絶壁を通らなければなりません。道も悪く、橋もありませんでした。

時あたかも春のはじめ、日隠山ひかくしやまの雪が解けて水は川にあふれていました。川巾は広くはないが、向う岸が高いので、しばらくじっと石の上に馬をとどめていました。やっところあいをみて無事向う側につき、兵を北へと進めました。